

第16回全国農林水産物直売サミット 開催報告

～産直王国・愛媛で考える、直売所の持続的な経営～

- 日時 平成30年2月1日（木）～2日（金） ●参加者 約350名
- 開催場所 愛媛県松山市「松山全日空ホテル」
- 現地視察 愛媛県下の直売所をめぐる全4コース
- 開催趣旨 全国の直売所関係者の課題解決や情報発信を進めるとともに、直売所間のネットワーク化を目的に開催。今年は「直売所の持続的な経営」をテーマに、地域に根差した農林水産物直売所が、将来にわたり健全な経営を進めて行くための方策を探った。



会場の盛花は愛媛県特産の「さくらひめ」。交流会には愛媛県のアイドルみきゃんちゃんも駆けつけて、会を盛り上げてくれた。



- JAおちいまばりの「さいさいきて屋」の木原嘉文店長は、「直売所は単なる物の売り場ではなく、農家のための販売実験場。そこで何を売り、どのように売っていくかを挑戦する場」と講演で提起（左上）。
- 愛媛県内からは（株）いよぎん地域経済研究センター土岐博史主任研究員、内子フレッシュパークからり（内子町）の木下博子総務課長、たいぎ産直市「愛たい菜」（JA愛媛たいぎ）の宮岡寛樹店長から話題提供・事例紹介が進められた。



2月1日は愛媛でもまれな大雪の日。そんな中で、全国各地から約350名の直売所関係者が集合。ロビーでは様々な柑橘の展示も。



- 県外からは、海産物直売が人気の「道の駅むなかた」（福岡県宗像市）の工藤達哉 営業部長、大型店でも地場産物のみ販売に徹する「ええじゃん尾道」（JA尾道市）の吉原徹店長から、店の経営戦略を伺った。



- 主催者を代表し（一財）都市農山漁村交流活性化機構の山野昭二専務理事が挨拶。協力頂いた皆様への御礼と直売所の今後の発展への期待を込めて開会した。
- 今村奈良臣 理事長は第⑥分科会で特別講座「農産物直売所は6次産業化のトップランナー」と題し、100分の講演を行った。

開会にあたり、上甲俊史 愛媛県副知事、梅岡伸一郎 松山市副市長、坂井 康宏 農林水産省中国四国農政局長より開催地の歓迎挨拶。いずれも今後の直売活動への期待と直売所を率いる関係者への激励が述べられた。

主催 全国農産物直売ネットワーク （一財）都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流きこう）
 後援 愛媛県 松山市 農林水産省 JA全中 JA愛媛中央会 愛媛県農業会議
 全国直売所研究会 一般社団法人全国農業改良普及支援協会 一般社団法人農山漁村文化協会
 一般社団法人全国農協観光協会 えひめ愛フード推進機構

第16回全国農林水産物直売サミット 開催報告

～産直王国・愛媛で考える、直売所の持続的な経営～



1



2



3



4



5



代
表

●第①分科会「直売所での海産物の売り方、活かし方」は、道の駅八幡浜みなと（八幡浜市）の木村館長、第②分科会「品揃えの充実に向けて。生産者向け集荷対策」は、道の駅天空の郷さんさん（久万高原町）の岡 誠也係長を助言者に迎えて進められた。
●第③分科会は「直売所の持続的な経営・長続きする秘訣」、第④分科会は「給食食材供給など地産地消の核となる直売所」、第⑤分科会は今村奈良臣代表の特別講座が行われた。直売所の今後の発展に向け、全国の直売所に関わるプロ達から積極的な発言が行われた。

交流会にも200名を超す参加者。会場には話題の「みかんジュースの蛇口」が特設。多品種の柑橘や直売所の加工品なども展示された。平成30年度の全国直売サミットの開催地は和歌山県に決定し、和歌山の皆さんから来年度の歓迎の言葉を頂き、1日目を締めくくった。



直売所現地視察は県内4コースに分かれ、晴天の下、旬の柑橘やご当地の味があふれる愛媛の直売所をめぐりました



周ちゃん広場



風早の郷「風和里」



「からり」の中庭で集合



さいさいきて屋の店内



愛媛の皆さま、大変お世話になりました

SAI&Co.2階の中庭に驚き



天空の郷さんさんの集荷トラック



道の駅みまのランチバイキング



愛たい菜での歓迎